

鳳 陽

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——

第174号

令和4年1月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会
(山口大学経済学部同窓会)
〒753-0089 山口市龜山町3-1
TEL・FAX (083) 924-4361
E-mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp
印刷所 株式会社マルニ



瑠璃光寺五重塔 (山口市)

(撮影：学18 田中 節生)

令和4年 新年のご挨拶



一般社団法人 鳳陽会
理事長 松永 昭博 (学21)

明けましておめでとうございませう。会員の皆様には日頃より鳳陽会の活動にご協力、ご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。姿の见えない新型コロナとの共存を念頭に置いた日常生活の模索が続く中、新しい年が明けました。振り返れば、昨年もコロナ禍は各方面に大きな影響を与え、不自由な生活を余儀なくされました。しかし、感染防止についての知見の深まりや医療面の対応の進展を通じ、以前の生活が徐々に取り戻され、夏には東京オリンピックが開催、秋には新政権が発足し、経済も回復に向かいつつあるように思われます。

この先、感染症がどのようなふうになっていくか予断を許しません。状況が許せば今年は基本的な感染対策を講じたうえで、過去二回中止に追い込まれた通常(全国)総会や支部総会を開催したいと考えています。しかしコロナ感染が思うように収束せず、どうしても開催が困難な場合はメンバーを限定した遠隔会議と書面議決の併用方式に切り替えるを得ないこともあるかと思ひます。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

こうした中で鳳陽会の活動をどのように行っていくのか。鳳陽会は山大経済学部同窓である皆様の抛りどころの一つとして、かけがえないものであることは言うまでもありません。た

このほか、情報の発信については、東京、名古屋及び大阪の各支部でホームページを通じた情報発信が活発化していることは大変

英会話特別講座を

行っています。

経済学部特命教授 山根和明(学15)

10月から始まった後期授業において、課外で「アクティブラーニング英会話」という授業を始めました。

コロナ禍の中、なかなか外国人留学生の確保が難しく、1年間休んでいましたが、今回6名の外国人留学生を確保できました。10名の受講生を得て楽しい授業をやっております。

狙いは、社会に出て一目置かれる英語のしゃべれる経済学部卒業生を輩出したからです。私のやり方は外国人講師を雇わなくても

しゃべれる人材を輩出できる！という指導法です。最初の40分で学生たちはペアで英会話必須表現、小スピーチなどを英語で覚えあい



山根先生とアシスタントの皆さん

ます。そして、後半の40分に外国人留学生を招き入れ1対2、3で10分、10分、10分と相手を替え3ラウンド休む暇もなくオール英語で会話するというものです。

言葉はとにかく実践です。私はこの信念のもとに毎週アクティブな学生が主役の楽しい授業を行っています。これができるのも鳳陽会の厚いご支援があるからです。ありがとうございます。

英会話教室に

参加して

○若者定着促進室

伊勢屋 次朗

令和2年の10月から再び山口大学(若者定着促進室)でお世話になっている伊勢屋次朗と申します。昭和49年に教育学部を卒業、教師となつて10年前に定年退職。平成27年の4月より4年間、経済学部の学務係就職支援室にてお世話になっており、同窓会の皆様方には公私にわたり支えていただきました。因みに、私の従兄の長男2名が経済でお世話になっていました。

山根和明先生とは、英語教育と趣味の音楽との関わりから、TOEIC等の情報を交換したり参考書を紹介していただいたりしていました。

現在では、先生の英会話の授業にパートタイム・スタUDENTとして時間休を取って参加させていただいております。このコロナ禍ではありますが、先生の教室には経済学部だけでなく、その他様々な学部から熱心な学生たちが集まっております。ツボを押えた指導により90分の授業は飽きが来

ない工夫が成されています。

導入はまず先生のギター伴奏に合わせて洋楽の斉唱から始まります。洋楽を歌うことは歌詞の意味を理解し、正確に英語の発音をすることで語彙を増やすとともに英語の音に慣れさせます。続いて、学生同士でその週の課題となつていた暗唱英文を披露し合い、フリートークに移ります。最後は、数名の留学生を招いて完全に英語でのフリートーク。とにかく90分の間、英語漬けとなります。いわゆる「英語を話さなくてはならない環境」に置かれるわけで、学生たちの会話能力の差はありますが、前向きに授業に取り組んでいます。

私の場合、なぜそんな年齢になつて英語の勉強をするのかと聞かれますが、いつも「痴呆防止とあの世に行つても英語が必要になるから」と答えるようにしています。たかが英語、されど英語です。語学は語彙に始まつて語彙に終わると言われていますが、と



にかく努力した者だけが味わえる充実感を先生の授業では毎週感じる事ができます。山根先生のおかげで、2年前に英検準1級を取得し、TOEICは820点を取得しました。学習に年齢は関係ないと私は個人的に思っています。日本では数年前から小学校でも英語教育がスタートしました。今後多くの学生が入学してくると思いますが、英語のレベルに興味津々といったところですよ。

○教育学部 熊野 楓稀

毎回の授業の前に、その日に話すトピックを知ることができ、その上暗唱もあるので、しっかりと練習をすることが出来ます。毎日少しずつ自分の話せる表現が増えてきていて楽しいです。実際に会話をする時間も多々あるので、十分に練習することが出来ます。これからもよろしくお願いたします。

○経済学部 田坂 圭輝

僕がこのクラスに参加する前と後で変わったことが大きく二つあります。

一つ目は、初めは簡単な自己紹介のレベルの英語ですら話すことができませんでしたが、今では趣味や日々の生活などの簡単なトピックでは留学生の人たちと、すらすらとコミュニケーションを取ることができるようになりました。そして何よりもミスを恐れずに英語を話すことができるようになりました。

二つ目は人間関係が豊かになりました。海外の留学生とはもちろん、同じ目標を持った志の高い人たちと出会うことができたのが非

常に嬉しく、また英語の勉強を頑張ろうと思えるきっかけにもなりました。

授業内容に関しては、授業前半で使える会話表現を確認することで英会話が苦手な人でも勉強しやすいと思います。そして、授業後半に留学生と実際に英語で会話をしますが、受け身の授業ではなく、生徒が能動的に学ぶことができる授業構成になっていると思います。

また授業の最初と最後では発音に気を付けるために英語の歌をみんなで歌います。それは楽しいのですが、僕は飽き性なのでもっとビートルズとか他の有名な歌も歌ってみたいなと思います。

もし時間があれば山根先生には今後の授業で、他の有名で僕たちでも歌えるような曲を取り上げて欲しいと思うのでよろしくお願います。

○経済学部 小鳥 真季奈

私は現在3年生で、山根先生の英会話の授業には1年生の頃から参加させていただいています。

と英会話をするのができます。同じ学生という立場の外国人と話すことは、「正しく話す」より、良き友人になるために「自分の思いを伝える」という信念で、会話をすることができま

そして、この授業に参加する外国人留学生は英語を第二外国語としており、彼らもまた英語を現在進行形で勉強しています。異国の地で奮闘する同世代の若者と関わりを持つことで、自らを高め成長させることができると思っています。

○経済学部 日下 潤人

英語に関しての経験が少ない私にとって、毎週のテーマを暗記することは英語の表現のレパートリーを増やすことに非常に役に立っていると思います。現在は覚えてしゃべることに精一杯ですが、暗記した文章の単語を入れ替えて様々な内容

について文章を作る練習ができる点もよいと思います。重要表現のペアワークは日本語を英語に直す練習をすることができ、実践で英語をしゃべるときに頭の中に出てくる日本語を英語に直

しやすくなったと思います。また、重要表現を知ること

で英語のレパートリーを増やせる点が良いと思います。感想をまとめると、授業の前半は英語を話す上での選択肢を増やす活動である

と思います。そして英語について知識のない私はこの活動が本場に大切だと思えます。私以外の学生は今までに蓄積してきた英語のスキルによつてスラスラと留学生と話していますが、私には蓄積されたものがないので、授業全部が留学生との会話練習だと授業についていくことができないし、ゼロの状態でも身に

ならないと思うので初学者にとつて必要な活動であると思いました。

授業後半の留学生との会話は正直なところ私にとつて、とても難しい活動だと感じました。徐々に英語の知識を増やせるとは言え、周りの学生がスラスラと会話を続けているので会話に入ることが難しいです。そのため会話がうまくできなかつたと悔しい思いもしますが、それが学習のモチベーションとなつていると思えます。留学生の出

身国によつて英語の発音の違いがある点は、自分のリスニング力を鍛えることができるのもよいと思います。

今は授業についていくことに精一杯ですが、英語の知識をつけ、留学生の方々とスムーズに会話できるように英会話クラスで頑張りたいと思います。

○経済学部 河野 育瑠

留学生と接することが出来る貴重な講座であると思えます。また、同じ志を持つた友人や、様々な経験を積まれた先輩方も交流出来ます。友人や先輩方と英会話をしたり、情報を共有することで、講座の度に刺激をうけます。

講座へ参加して以来、友人との日常会話を英語にシフトしたりと、明確に留学を意識できるようになりました。

講座内にて山根先生のギター演奏で、「Blowing in the wind」を留学生と歌うルーティンは、平和について思いを馳せることが出来て素晴らしいと思います。

わたしの就職活動

◇経済学科 大森穂野花

私は、3年生の夏頃から就活を始めました。始めた当初は、勤務地やどのような業界に就職したいなどということは何も決まってい

ませんでした。まずはどのような仕事があり、私ができるような仕事に興味があるのかを知りたいと思い、就職活動支援サイトを活用して面白そうな企業からあまり興味のない企業まで、手当たり次第に説明会やインターンシップに応募し参加しました。

その中で、

- ① 人の暮らしに密接に関わる仕事
② 人と接する仕事の中でお客様との距離が近い仕事

- ③ 若手の頃から挑戦できる自由さがある仕事

という就職活動の軸が定まりました。この軸をもとに業界を絞り、説明会やインターンシップへ参加した結果、大手企業から内定をいただきました。

軸を絞るほうが私はやりやすいと感じましたが、就活を進めるうちに変わっていくものであると思うし、絞らない方が自分自身の可能性を広げることに繋がるので無理に絞る必要はないと思います。選考では、エントリーシートや面接を通して自分自身がどのような人物かを企業によく知ってもらうために、アルバイトでの出来事、学校での出来事など生まれてから今までどのような事を経験してきたか、興味を持ってきたか、挑戦してきたか、より多くのエピソードを持つべきだと感じました。他にも、多くの就活生がいる中で印象づけられるように笑顔など表情豊かであることと、自身の経験とその企業とを結びつけたエピソードを挟むことを心掛けました。最後に、私が就活をして思ったことは、自己分析を早くから行うこと、スケジュールの管理をきちんとすること、情報は出来るだけ多く集めること、興味の

ない企業の説明会にも一度は参加してみること、「とりあえず受けよう」で良いので幅広く企業の選考を受けることが重要だということです。コロナ禍で不利なこと

も多い中、午前は企業Aの説明会、午後は企業Bの説明会に参加するなど効率よく就活を行えるのは、オンラインだからこそです。

就活を始めた当初は、私も不安を感じていましたが、就活を進めていくうちに必ず自分のスタイルは確立されるので、人と比べて焦ったり不安になったりする必要はありません。就活期間は選考だけに時間を割くのではなく、友人や親、先輩、先生などと話したり好きなことをしてリフレッシュすることをして、思わぬ縁との出会いがあったり視野が広がるきっかけになったりすることもありません。

◇経営学科 木下和弥
私は、大学3年の4月下旬から就職活動を開始しました。きっかけは、新型コロナウイルスの影響による時間の使い方の変化です。最終的には、ITソフトウェア会社から内定をいただき、悔いなく就職活動を終えることができました。

私の就職活動を一言で表すと、オンラインのメリットを最大限に生かした就職活動です。インターンシップには20社参加し、本選考エントリー企業数は25社でした。多くの方と出会い、多くの経験を積んだ1年間になります。ここからは、実際に行ってきたことや評価していただいた点を中心にお伝えしていきます。

も、ゼミ活動、複数の資格取得、短期留学、サークル活動などを経験し、興味のあることへ時間を惜しむことなく挑戦してきました。

就職活動では、これらの経験を踏まえて、自分の強みと弱みを整理しながら、アピールポイントを持って進めていきました。そして面接では、とにかく自分らしさを発揮することを意識しました。その結果、内定の先の面接では、「準備力の高さ」を評価していただきました。「逆質問の数」、「会社の理解度」、「現場社員からの直接ヒアリング」など、できる準備を全力で行った結果であると考えています。会社の理解度は、簿記の勉強で財務諸表を理解できたことが一因であり、逆質問を含んだ総合的な準備力の高さは、長期インターンシップの商談経験によるものが一因であると思います。しっかりと学生時代に得た経験を応用できました。

振り返ってみると、就職活動は自分を客観視できる貴重な時期でもありました。山口大学の選択が自分にとって正解と胸を張って言い切るために、残りの大

◇経営学科 高坂美咲
私は、3年生の夏から就職活動を始めました。その頃は、地元である岡山で働きたいと漠然と思っていました。自分が何に興味があるのか、何が向いているのかなどがわからず、最初は友人に誘われるまま、地元企業のIDAYインターンシップに参加していました。参加したことで、自分が世の中にある企業を、あまりにも知らないということに気がつくことができました。そこから、就職活動支援サイトなどを活用したり、インターンや説明会に参加したりして、とにかく様々な企業について「知る」ということを行いました。

私は多くの企業について深く効率よく知りたいと考え、合同イベントよりもIDAYや2daysなどの短い期間の単独インターンを優先し、参加していました。コロナ影響でオンライン開催が主流だったことを活かし、多い日では1日に3社のインターンに参加しました。色々な企業と出会い、比較していく中で、企業の特徴や違いに気づけるようになり、自分がどこに魅力を感じるかがわかるようになっていきました。私が特に魅力を感じたのは、「様々な人と関われる仕事」と「企業理念に共感できる」という点でした。そして、それを深掘りし、何故自分が魅力を感じたのかルーツを考えることで自己分析を進めました。

企業調べや自己分析により、自分が行きたい業界ややりたい仕事が決まってきたら、自分と企業のマッチングを考えるようにしました。インターンで社員の方に積極的に質問し、企業が求める人材に自分は当てはまっているか、アピールできる部分は適合しているかを分析しました。結果的に第一志望となった企業は、何度もインターンに参加し、私のやりたいことや、やってきたことが最もマッ

チしていると感じた企業で、内定をいただくことが出来ました。

改めて自分の就職活動を振り返ると、自分のペースで前に進むことができたと感じています。もちろん思い通りにいかず落ち込むことや焦ることもありましたが、これまでの人生で一番自分と向き合うことができた期間だったと思っています。また、様々な企業で多くの人と出会い、視野を広げることができました。就職活動に漠然と不安を感じるのはそれが不透明でよくわからないものだからなのではないかと思えます。不安の原因を焦らずに一つずつ解消していくことが、充実した就職活動に繋がるのではないかと思います。

私は、大学3年の4月下旬から就職活動を開始しました。きっかけは、新型コロナウイルスの影響による時間の使い方の変化です。最終的には、ITソフトウェア会社から内定をいただき、悔いなく就職活動を終えることができました。

◇経営学科 木下和弥
私は、大学3年の4月下旬から就職活動を開始しました。きっかけは、新型コロナウイルスの影響による時間の使い方の変化です。最終的には、ITソフトウェア会社から内定をいただき、悔いなく就職活動を終えることができました。

◇経営学科 高坂美咲
私は、3年生の夏から就職活動を始めました。その頃は、地元である岡山で働きたいと漠然と思っていました。自分が何に興味があるのか、何が向いているのかなどがわからず、最初は友人に誘われるまま、地元企業のIDAYインターンシップに参加していました。参加したことで、自分が世の中にある企業を、あまりにも知らないということに気がつくことができました。そこから、就職活動支援サイトなどを活用したり、インターンや説明会に参加したりして、とにかく様々な企業について「知る」ということを行いました。

私は多くの企業について深く効率よく知りたいと考え、合同イベントよりもIDAYや2daysなどの短い期間の単独インターンを優先し、参加していました。コロナ影響でオンライン開催が主流だったことを活かし、多い日では1日に3社のインターンに参加しました。色々な企業と出会い、比較していく中で、企業の特徴や違いに気づけるようになり、自分がどこに魅力を感じるかがわかるようになっていきました。私が特に魅力を感じたのは、「様々な人と関われる仕事」と「企業理念に共感できる」という点でした。そして、それを深掘りし、何故自分が魅力を感じたのかルーツを考えることで自己分析を進めました。

企業調べや自己分析により、自分が行きたい業界ややりたい仕事が決まってきたら、自分と企業のマッチングを考えるようにしました。インターンで社員の方に積極的に質問し、企業が求める人材に自分は当てはまっているか、アピールできる部分は適合しているかを分析しました。結果的に第一志望となった企業は、何度もインターンに参加し、私のやりたいことや、やってきたことが最もマッ



山口大学同窓生の皆さんの 山口県へのUターンのお手伝いを いよいよ始めます

(前)山口ティー・エル・オー代表取締役
山口大学名誉教授
前国際連携担当副学長

三浦 房 紀
(工学部土木工学科49年卒)

鳳陽会会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

この原稿を書いている11月末前後は、新型コロナウイルスの新規感染者が全国で100人前後となり、各種制限も徐々に解除されつつあります。このまま第6波が来ることなく、新しい年を迎えられることを願っています。

さて昨年より、山口TLOが山口大学出身者の山口県内へのUターンの斡旋事業を始めるといふことを書きました。この事業を始めに当たって、職業紹介事業責任者の資格認定を昨年7月に取得し、山口県を通じて厚生労働省に申請書類を提出して、今年5月に無事許可証がおりました(付図)。

事業は山口県や公益財団法人やまぐち産業振興財団

れ支援があります。それらを見ながらUターンを考えていただければと思っております。

1. OB等人材バンク

(やまぐち産業振興財団)

<https://ymg-obbank.jp/>

山口県内の中小企業等の研究開発力・技術力の強化や経営力・マーケティング力の向上等を促進するために、専門知識や技術等を有する人と、助言や指導を希望する県内企業をつなぐ仕組みです。まずはこのバンクに登録し、県内企業との関係を作られ、その延長線上でUターンを考えられるといいのではないのでしょうか。そのお手伝いを山口TLOが行います。

2. 山口県プロフェッショナル人材戦略拠点

(やまぐち産業振興財団)

<https://yg-pro.jp/aboutus>

山口TLOへ皆さんからプロフェッショナル人材として技術や経験などを登録していただきます。やまぐち産業振興財団が、県内企業が求めているプロフェッショナル人材と山口TLOに登録されているプロフェッショナル人材のマッチングを行います。

3. 移住支援(山口県労働政策課雇用・労働企画班)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15900/koyou/jushienkin.html>

東京圏から山口県へ移住や就職される方に支援金が支給されます。いくつか条件がありますが、山口県へのUターンを考えておられる方は是非検討頂ければと思います。

4. 山口県YY!ターンの(U)ターンの支援サイト

(住んでみいね!ぶちええ山口県民会議)

<https://www.ymg-ujj.jp/>

山口県へのYY!ターンの(U)ターンの検討されている方のために、YY!ターンの支援交通費補助金制度や、引っ越しやレンタカーを借りる際に割引が受けられるYY!ターンのパスポート制度などが用意されています。

山口県でのお試し勤務や、現地視察する際の交通費を支援する制度もありますので、まずこの支援策を活用して山口県で働くイメージを持たれるのも一つの方法かと思えます。

山口県ややまぐち産業振興財団のホームページには様々な制度が掲載してありますので、是非一度ご覧いただければと思います。

学生時代を過ごした安全で自然豊かな、ストレスの少ない山口県で第2、第3の人生を送ることをお考えの方は是非左記山口TLOにご連絡いただければと思います。

いさなり移住は少しハードルが高いという県外在住者の方には、「山口つながる案内所」というサイトも設けられています。まずは会員登録して、山口とゆるやかに繋がるとよいのではないのでしょうか。

<https://www.ymg-tunagaru.jp/>

5. サテライトオフィス開設支援(山口県企業立地推進課)

<http://www.yamaguchi-satellite.jp/>

今勤めておられる企業が、山口県へサテライトオフィスを開設する際に、県や市町からオフィス開設に要する経費の一部(不動産賃借料・通信回線使用料・施設改修経費・開設準備のための旅費等)が補助される制度があります。



山口ティー・エル・オー
〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1
山口大学 大学研究推進機構内
担当：三浦房紀、森下順子
Tel: 0836-22-9768
Fax: 0836-22-9771
tlojim@yamaguchi-u.ac.jp
URL: <http://www.tlo.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>



在りし日の山本博巳顧問 (中央)

畏友
山本博巳君の
思い出

一般社団法人鳳陽会の山本博巳元理事長が令和3年11月2日、亡くなられました。享年81。ふるさと山口と母校、山口大学経済学部をこよなく愛し、鳳陽会を支えてきました。誠に悲しく、寂しく思っています。

私は昭和33年春、彼と同期で山口大学経済学部に入社、同じ浜田ゼミに所属しました。卒業後も同じ会社・日立物流に入社したの

です。

さらにその数年後に彼が鳳陽会東京支部長という重責を担った際、彼からの要請を受けて事務局長を引き受けるに至りました。その後彼は全国組織での理事長を務めました。

それらを含め今日に至るまでの期間を累計すると、お付き合いも60数年という長き年月になります。

山本君は社内での同世代グループのなかでは、若いころから力量と実績が極めて抜きん出ていました。



在りし日の山本博巳顧問 (H22卒業記念パーティ)

りと余裕をもって話すのにそのときの電話では心なしかやや緊張している様子が感じられました。

それはそうでしょう。社長を務める責任感で打ち震える思いであつたに違いありません。私は驚きもありましたが、それ以上にその貴重なニュースを、真つ先に私にと知らせしてくれた彼の友情と心意気に感激致しました。

別の些細なるエピソードの思い出。あるとき、彼から突然の携帯電話を受信しました。

「いま、山口に来ていて、友人と喫茶店にいるのだが、君の妹さんと偶然に出会ったのだ。ちよつとかわるよ」といつて受話器をバトンタッチされたのです。電話先の声はまぎれもなく山口県に在住する妹の声です。

たまたま、妹がある喫茶店に入ったらしい。同じ時

刻に来店していた客の一人(山本氏)が相手との会話で何度も「山口」や「鳳陽会」の話をしているのが耳に留まり、同年輩なのでひよつとしたら兄(私)のこゝろを知っているかもしれないと声をかけたというのです。

内容は他愛もないことですが、比較的小さな街・山口市での縁ある出会いは懐かしい思い出となつていきます。

別のエピソードをもうひとつ記してみます。10年ほど前の事。私が神奈川県藤沢市の病院に入院していたとき、山本君はいま一人の友、平井達夫君を伴つて、お見舞いに来てくれたことがあります。この3人は大学では同期であり、同じゼミ。よく一緒に飲んだりしていた親友同士でした。

その数年後、平井君が重い病気にかかった際には、私も山本君と二人でお見舞いに行つたのですが、無念にも彼はその後、他界する運命に見舞われました。人の世は、はかないものです。

ところで山本君は2008年、会社生活と別れを告げる時点で、「自分史」ともいえる本を書いておられます。

HITACHI Inspire the Next

LOGISTEEDは、進化をやめない。

物流を超えたさまざまな領域の協創パートナーとともにめざすのは、世界がまだ知らない未知のイノベーションだ。新たな市場を形成するプラットフォームとなるために動き始めた。LOGISTEEDの進化は、止まらない。

物流は新領域へ

LOGISTEED

題名が「心のつながり一日立物流とともに」という、内容豊富な書籍です。この本を改めて再読してみると、彼の人生観や仕事への情熱、郷土愛等が縷々述べられていて、とても興味深く感じられました。

また、彼は自ら携わった物流業界との関わりにとどまらず、山口大学経済学部と同窓会を繋ぐ上で大きな役割を果たしたのも、多大なる社会的貢献だと思えます。

趣味の面ではゴルフが得意でした。囲碁の実力も相当なものがあり、カラオケでの歌もなかなかの腕前でした。

天国の何処かでいつの日か再会することができたら、ワインでも飲み交わし、肩を組み、懐かしの「鳳陽寮歌」でも歌いながら、昭和と平成・令和に至る過ぎ去った日々の事柄を存分に語り合いたいものです。

謹んでご冥福をお祈り致します。

山口大学経済学部

10期 河野 禮二

動 静

住所変更

学 1	上田 久
学 2	松野 徹朗
学 10	石井 賢吾
学 13	堺原 直毅
学 25	山本 和範
学 27	細川 節雄
学 33	天野 孝視
学 37	津村 政隆
学 37	山下 昌之
学 50	上田 将嗣
学 51	畑田 健
学 54	田中 実
学 55	黒田 誠
学 56	水野 元貴
学 60	安藤 友翼
学 62	駒澤 宏明
学 64	村田 仰洋
学 67	岩崎 直
学 67	佐藤 優衣

学 68	牟田口雅矢
学 69	福田 滉斗

住所不明者
 会報が返送されず、住所をご存知の方はお知らせ下さい。

★高商経専の部
 別12 中田梅次郎

★大学の部
 学 68 太田惇之介

学 68	片岡 智弥
学 68	小池 明里
学 68	阪本 麻華
学 68	重城 達也
学 68	田中 優斗
学 68	中島 泉
学 68	福山 美空
学 68	山本 大護
学 69	楠園 愛梨
学 69	白濱信之介
学 69	瀧 祐介
学 69	南 柊汰

賛助会費納入者(敬称略)

ご協力ありがとうございました。

駒 澤 宏 明(学 62)

福岡支部総会の中止および支部役員会決定事項のお知らせ

令和3年11月10日に福岡支部役員会を開催し、以下について決定しましたのでお知らせいたします。

記

- 令和3年12月の福岡支部総会・懇親会については、会員間の懇親に対して、コロナ禍での感染リスクや感染予防対策における様々な制限を受けることなどを慎重に協議した結果、中止といたしました。
- 総会決定事項(令和3年度活動・決算報告、令和4年度活動・収支予算等)に関しては支部役員会での決議をもって承認とします。
- 令和4年度の福岡支部役員については全員再任とします。
- 令和4年度活動計画については、通常の行事計画を行うものの、開催に関しては新型コロナウイルス感染状況の収束等を注視のうえ、改めて会員へ案内いたします。
- 年会費については、各種案内等をはじめとする必要経費を考慮し、例年通りお願いいたします。

以上

支部長 川上 知昭

謹んでお悔み申し上げます。



★高商経専の部

金子 秀 (経40)	2	7	17
佐久間 保 (経40)	3	9	10
原田 博之 (経40)	24	1	1
渡辺 武 (経43)	3	5	25

★大学の部

本田 森雄 (学1)	1	1	1
池田 正孝 (学4)	3	5	1
田羅 和美 (学6)	3	7	21

(旧姓 岡崎)

松本 幸夫 (学6)	3	7	1
坂尾 進 (学8)	3	8	21
佐竹 尚 (学8)	30	1	1
山本 博巳 (学10)	3	11	2
安井 英夫 (学10)	3	4	6
舛木與三雄 (学12)	3	6	22
松尾 昌基 (学13)	3	6	20
平岡 武之 (学14)	3	6	5
森田 侃爾 (学15)	2	2	1
久佐 伸行 (学21)	2	11	8
堺 和幸 (学30)	3	6	10
田辺 和雅 (学37)	11	9	1

支部だより

東京支部

―長州歴史ウォーク

報告―



集まった同窓生たち

鳳陽会東京支部は令和3年6月5日(土)、東京・六本木周辺で第1回長州歴史ウォークを開催しました。ウオークを開催しました。生が集い、新緑の名所、旧跡を巡り、山大経済の絆を深めました。

新型コロナウイルス禍でしたが、同窓会活動を維持しようと、



マスク着用でウォーク

周囲は歴史の宝庫です。昭和11年、青年将校が兵を率いて決起。重臣を襲撃し、中枢部を占拠しました。2・26事件です。決起部隊

の主力となった陸軍歩兵第1連隊が首相官邸に向け、進んだ道を歩きました。

赤坂には江戸時代、備後の三次藩浅野家の屋敷がありました。「忠臣蔵」で知られる浅野内匠頭(たくみのかみ)の正室、瑤泉(ようぜい)院は夫の死後、実家である三次藩の屋敷に身を寄せました。屋敷跡には赤坂氷川神社が建ち、豊かな緑に包まれています。

また、幕末に活躍した勝海舟は赤坂を愛し、明治時代まで暮らしました。坂本龍馬が勝海舟の屋敷を訪れ、劇的な出会いを果たした旧居跡があります。

日露戦争で旅順要塞を攻略した乃木希典(まれすけ)大將の旧邸は今も残っています。同窓生たちは乃木大將について語り合い、往時をしのびました。最後に乃木神社を参拝して現地解散しました。

参加者たちは「一度、来てみたかった歴史の現場」「有意義な企画だった」と笑顔で語り、好評でした。

東京支部はこれからも第2、第3の長州

密を避けて、感染リスクを抑えた野外イベントを企画したものです。

江戸時代、長州藩の下屋敷が現在の東京ミッドタウン・檜(ひのき)町公園にあります。「檜屋敷」と呼ばれていたそうです。

首都圏で暮らす同窓生たちは長州ゆかりの地、檜町公園に集合しました。松永昭博支部長があいさつした後、準備運動。マスクを着用して2班に分かれて出発しました。

歴史ウォークを企画。同窓会活動の軸にしたいと考えています。

(学23 塩塚 保)

名古屋支部

―第三四回

懇親ゴルフ会の開催―



令和三年十一月六日(土)、第一三四回懇親ゴルフ会を森林公園ゴルフ場(愛知県)で開催いたしました。

一三二回(春)に開催、一三三回(秋)に開催、一三三回(春)に開催は全て新型コロナウイルス感染拡大により、中止を余儀なくされましたので本当に久しぶりの開催となりました。

当日は晩秋とも思えない好天に恵まれ、穏やかな陽気の中のラウンドでした。ただ未だ若い現役組の方々には感染を心配され参加を辞退される方もあり、常連の五名とオープン参加の女性一名ゴルフをよく嗜まれる懇意の方をお誘いしてでしたが、和気藹々のゴルフとなりました。また鳳陽会の名古屋支部懇親ゴルフコンペに女性の参加は初めてかもしませんが、お陰で一層楽しいラウンドとなりました。

結果は下記の通りで、

住所・氏名等、変更された場合はお知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。
連絡方法は下記の通りです。よろしく願いいたします。

TEL & FAX : 083-924-4361
Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (http://www.houyou.or.jp/) からの変更手続きも可能です。
是非ご活用ください。



鳳陽会 検索

吉山さんが見事二度目の優勝を飾られました。
次回は来春に岐阜県のコースでの開催を予定しています。

【成績】(ダブルペリア方式)

- 優勝 吉山 嘉久 (N77.4)
- 準優勝 川村 恒治 (N77.4)
- 第3位 乾 昌博 (N79.6)

【参加者】(敬称略)

- 村田正春(学6)、乾昌博(学9)、武藤康明(学12)、吉山嘉久(学17)、川村恒治(学22)の五名と深田さんの合計六名。

(川村恒治 記)

「手負いの虎」その2

真珠湾攻撃隊長の人生を変えた

アメリカ婦人

和泉 清(経44)



和泉氏が翻訳に携わった「手負いの虎」表紙。翌年3月突然、長らく比島から連絡が途絶えていた

淵田中佐は戦争を地球上からなくすには、人類すべてが隣人を愛するようになることであるとの境地に至り、そのためにキリスト教の洗礼を受けた上、日本や海外を回る宣教活動を行った。彼の人生を変えたのは、アメリカ人男女の二人であった。前者についてはすでに本誌170号で紹介したが、今回はもう一人のペギー・コーベルを取り上げた。彼女の父親ジミーは、旧横浜バプテスマンズ神学校で教鞭をとるため1920年来日した。ペギーは関東大地震のあった1923年に生まれている。

1940年、日米関係悪化に伴い夫妻は、パナイ島(ルソン島の南)に移住、ペギーは就学のため単身アメリカに帰国した。翌年、日米開戦とともに夫妻は、他の米国民間人とともにパナイ島の奥地に疎開し、仮住まい小屋を建てるとともに、野外教会を設営し、ホープベール(希望の谷)と名付けた。

1943年末、日本軍によつて彼らの存在が嗅ぎ付けられ、子供数人を含む牧師や教師夫妻など17人全員が捕えられた。彼らはスパイ嫌疑を受け、現地司令官の命令で即時処刑されることとなった。全員は野外チャペルで最後のミサを行い、敵を愛し、自分を迫害する者のために祈った。翌年3月突然、長らく比島から連絡が途絶えていた。

その後間もなく、彼女は日本語が話せる看護士としてユタ州にある米軍病院に採用されることとなり、大陸横断鉄道でコロラド州經由病院にたどり着いた。彼女は弟よりの手紙に思いを巡らす。日本兵に囲まれた両親たちが輪になってひざまずいている光景が目に見え、汽笛の音に目覚めた彼女の手には、涙にぬれた両親の写真が握られていた。

一方、淵田は、終戦後連合軍BC級戦犯裁判に原告側証人として呼び出された。「戦争では、勝者が常に正しいわけではない。」と心中思うとともに、旧敵国の日本兵捕虜処遇にも強い関心を持った。1946年春、捕虜送還船がアメリカから横浜港へ帰着し、ミッドウエー海戦で消息を絶った旧部下金ヶ崎兵曹に再会する。彼は、幸運にも米艦に救助されたとのことであったが、顔には火傷の傷跡が生々しく残り、左手には義手を着けていた。

淵田が早速、収容中の処遇を尋ねたところ、米のまづさは別としてそれ以外は特にむごい扱いを受けなかったばかりか逆に手厚い治療を受けたとの返答に、二の句が継げなかった。兵曹は続けて言った。「病院には日本語の堪能な娘さんが一人いて、いつも我々の面倒を見てくれました。まるで天使のようでした。」と。何故、敵国の捕虜にそこまで親切にしてくれるのか再々度の質問に、彼女の答えは、「私の両親は日本軍に殺されたからです。」と。「なんだって?」淵田の頭は混乱し、その言葉がしばし理解できなかった。

1950年秋、ペギーは「新聞に真珠湾を攻撃した人が悔いていると書いてあるの。その人は、両親を失ったある少女のことを耳にしたんですって。」と友人から伝えられた。友人と別れて一人となったペギーは日本語でつぶやく。「暗闇のあるところに光を、悲しみのあるところに喜びを。」(聖フランシスコの平和の祈り)続けて、「神様、このようになつたことを感謝します」と。

終わり

終わり

井澤金属は、金属の未来を見つめています。

【取扱品目】
 非鉄金属素材/アルミ・伸銅製品
 特殊合金/鋼合金/精密鋳・鍛造品
 クラッド/FRP/超硬・研削工具
 粉末合金製品/電装パーツ
 電子部品/金型
 エレクトロニクス関連製品
 工作機械/環境改善製品/建築材料

井澤金属は、あらゆる産業分野に
 役立つ金属素材を提供する
 非鉄金属の総合技術商社です。

井澤金属株式会社
 取締役会長 井澤 武尚 (学12)
 本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目13番10号
 TEL (06) 6262-1231 FAX (06) 6262-1233
 東京支店 名古屋支店 広島営業所 神戸営業所
 URL : http://www.izawa-metal.co.jp

「鳳陽」の配布について

「鳳陽会」は、年会費、賛助会費、入会金で運営しています。会費を納入されている会員への還元を念頭に、機関誌「鳳陽」の配布を下記の要領で実施しています。

会員	1年間の配布回数	会費
年会費会員	3回 (5月・9月・1月)	3,000円/年
賛助会員 (終身)	3回 (")	50,000円
贈呈者	大学関係者、及び在学生 新卒卒業生には卒業後3年間	

上記以外の会員には **年1回、5月号のみ** を送付します。

「年会費払込票」について
 会報の発送時期に会費を納入された方は、再度「年会費払込票」が同封される場合があります。何卒ご了承下さい。(事務局)

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。

山口の想い出

増田 正(学II)

山紫水明の地、山口での学生生活の4年間は私にとって思い出深いことばかりです。硬式野球部(以下、野球部)での活動、学友たちとの集い語り、地域との結びつき、ほどほどに出席した講義などなど。

以下、野球部の活動を主とした思い出を綴ってみます。

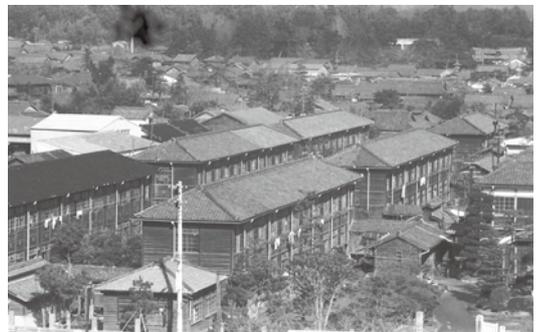
◆合宿

野球部の活動はまず3月1日からの合宿から始まります。当時、鳳陽寮は南寮、中寮、西寮、北寮、西北寮の五つの棟があり、南寮の東端にある娯楽室の2階の



鳳陽寮正門 (学12 永沼嗣朗氏提供)

円ではなかったでしょうか。因みに寮生が食事代以外に寮費として月に支払うのは部屋代、電気代、水道代の各1000円の計3000円でした。新入生の時、両親にこのことを知らせて、ひと月3千円の仕送りを依頼したのを覚えています。大学の授業料は年間9千円でした。お賄屋での食事は、お



鳳陽寮全景 (学12 永沼嗣朗氏提供)

大学文化祭が開催され、経済学部講堂で映画上映、メンネル、フラウエンコールの合唱会、ダンスパーティー、講演会など色々な行事が繰り広げられ、野球部にも入場券の販売割り当てがあり、数枚配られてきます。この券の代金は各クラブのひいては部員個人の負担になります。この券をどうするかと言いますと、

野球部が日頃お世話になっている方々に配るのです。下宿生活を始めて最初の下宿先のおばさんに映画の券を2枚あげたところ「よかったです。楽しかったです」と大変喜ばれました。このおかげかどうかは分かりませんが、数日後「増田さくん、主人が遅くなるので、お風呂よかつたらどうぞ」と声がかかりました。ご主人は高校生時代に甲子園を目指していたそうで、当時、鶴岡(旧姓山本、南海ホークスの監督を歴任)のいる広島商業に

かすはおかわりなし、ご飯はおかわりありとのことだったので、皆、ご飯をおかわりし、2杯3杯とするので、賄屋のおばさんほとうとう音をあげて「勘弁してください」となり、ご飯は小どんぶり1杯だけとあひなりました。

当時は、2年生になると寮を出て下宿するという暗黙の約束みたいなものがあり、下宿は大学側に紹介してもらうか、先輩の後ろに入るかのどちらかが多かったかと思えます。大体、6ヶ月8畳の二部屋でひと月千円でした。食事、風呂はなく、これが下宿代の相場でした。風呂と言えばよい思い出があります。5月になると

合で1年もたたないうちに転居されることになり、下宿先の変更を余儀なくされました。野球部の練習は経済学部講堂と道を挟んだ東側のグラウンドを使っていました。バックネットの前に立つと左側にザビエルの塔、正面に経済学部の学舎、亀山公園の森など見晴らし抜群の景色でした。



当時のグラウンド

準備体操、腹筋・腕立て伏せ各100回、キャッチボール、トスバッティング、フリーバッティングと型どおりに進行し、最後はベース何周かのランニングで、大体3時間ほどの練習でした。昼食後一時間後に、午後の練習、夜は1時間ほどルールの勉強です。講義がある時は午後2時から練習開始で大体4時で終わり、日曜日と祝日は休みでした。

ボールなどの用具の調達に当たっては、4月初め、大学側から補助金がありますが、勿論十分ではなく、先輩方からの寄付や自分の

小遣いを出し合いやり繰りしていました。購入先は市内に一軒だけの用具店で、まず、大学からの補助金全額をこの店に支払います。ただし、それは、2、3年前に「ツケ」で購入した道具の代金です。新しく手に入る用具代は例年どおり、いわゆる「ツケ」にしてもらいます。そしてこの代金は何年か後の野球部が支払うことになります。ですから、練習用のボールは自分たちで切れた糸目を縫って再使用していました。

「ツケ」といえば、私は、4年生の時にこれまでの賄屋の店からおでんなどをやっているK店に変更しま



校舎側から見たグラウンド (学12 永沼嗣朗氏提供)

の3つでした。練習試合も数回ありました。私は2年生の途中から野球部に入り、デビュー戦は秋の大分大学との定期戦で、守備位置はレフトでした。

公式戦で一番思い出に残っているのは4年生の時、昭和37年5月、松山市で行われた中四国大会現在の全日本大学選手権の中国地区予選を兼ねた中国大会です。当時、大会の運営は輪番制で、この年は愛媛大学が当番でした。開催会場は愛媛県松山市の堀之内球場(当時の呼称)で、私の守備

位置のレフトからは松山城が望めるきれいな球場でした。この年は、新入生で本格的な左腕M君が入部し、ぐっと引き締まったチームになっており、私たちは「こそこやれるんじゃないか」と期するところがありました。M君の快投で鳥取大学、広島経済大学などに勝ち、ついに決勝戦に進み、松山商大(当時の呼称)と優勝戦を戦うことになりました。大会3日目の5月28日、準決勝、決勝とダブルヘッダーで頑張りましたが力の差が歴然としており、準優勝で終わり、神宮大会への出場はなりませんでした。

ました。というのは、松山までの旅費、宿泊費などの調達のため、大会の1か月前から大学や鳳陽寮周囲の家庭を訪問するのです。ガラガラと玄関を開けて「僕等山口大学の硬式野球部です。このたび中四国大会が松山市で開かれます。つきましては旅費など大会参加のための費用をご協力お願いします」と、お願いして回るのです。ほとんどの家庭の方々からご協力をいただきました。そのお礼の意味を含めて、文化祭の入場切符や寮祭の招待状を皆さんへ差し上げました。

山口市駐在の自衛隊チーム、山口高校チームなどとの練習試合もしました。特に思い出に残っているのは1年先輩のO氏の紹介で行った小倉玉屋のチームとの試合です。場所は小倉球場で、朝早く起きて小郡駅(現在の新山口駅)から快速電車に乗り試合に臨みました。O先輩には「東京六大学で活躍した選手が多数おるぞ、勉強になるぞ」と言っ

とか「八百屋お七の歌」など、普通の状態では歌えないような歌が次々と出てくるのです。野球部のコンパでは「チンカラ、カンカラ講義をさぼって亀山ゆけばくすのゝが横目でにらむ、なにくそ、おいらは山大野球部だぞ〜」という歌がありました。他に、出身校同士が行うコンパ、ゼミ別コンパなどありますが、それぞれ後輩が卒業生を対象に行う「追い出しコンパ」と卒業生になった時後輩にやってもらう「追い出されコンパ」もありました。

した。1か月分を月末に支払うのですが、最後の1か月分を支払わずに卒業してそのまま大阪の会社へ赴任してしまいました。すると、4月中頃、会社の寮にK店の主人から封書が届きました。「新入社員で給料を色々なことで使わなければならぬので少しづつお返し下さい」という内容でした。早速、返事を出し、5月の連休時に山口へ行って残りの代金を手渡しました。勿論、大阪のお土産持参です。今では信じられないことです。

◆公式戦

公式戦は中四国大会、三経戦、大分大学との定期戦



野球部

松山商大には後日、プロ野球チームの大洋ホエールズで活躍したS外野手など、ワンランク上の選手が多々顔を揃えていたように記憶しています。

山口へ帰ってからは、この大会参加にご協力いただいた方々に報告とお礼のための訪問をし

ました。山口市駐在の自衛隊チーム、山口高校チームなどとの練習試合もしました。特に思い出に残っているのは1年先輩のO氏の紹介で行った小倉玉屋のチームとの試合です。場所は小倉球場で、朝早く起きて小郡駅(現在の新山口駅)から快速電車に乗り試合に臨みました。O先輩には「東京六大学で活躍した選手が多数おるぞ、勉強になるぞ」と言っ

ました。山口市駐在の自衛隊チーム、山口高校チームなどとの練習試合もしました。特に思い出に残っているのは1年先輩のO氏の紹介で行った小倉玉屋のチームとの試合です。場所は小倉球場で、朝早く起きて小郡駅(現在の新山口駅)から快速電車に乗り試合に臨みました。O先輩には「東京六大学で活躍した選手が多数おるぞ、勉強になるぞ」と言っ

野球部の練習は試験期間と12月から2月まで行いません。ですから、筋肉が弱らないよう自分でトレーニングをしなければなりません。

◆トレーニング



鳳陽寮玄関 (学12 永沼嗣朗氏提供)

ん。当時はスポーツジムもなく、私は月に3回くらい数人一緒に鳳陽山に登っていました。下堅小路から真つ直ぐ北へ向かって歩き東鳳陽山を目指し、頂上で一服した後、西鳳陽山へと縦走り、湯田へ下るコースです。ある時、西鳳陽山の頂上から秋吉台を望み「あそこまで歩いてみよう」という気になり、後日実行しました。4人でテントを担ぎ、西鳳陽山の肩でテントを張り一泊。朝食後、秋吉台に向かって歩き始めました。約7時間歩き続けて昼過ぎに秋吉台の台地にある「長者ヶ森」で腰を下ろしたときはさすがに疲れ切っていました。そこからバスか何かを利用して山陰本線の東萩駅に向かい山口へは夜遅く帰りました。帰りの運賃が足りず、駅近くの派出所でお金を借りました。

◆アルバイト
野球道具、旅費などの捻出のためアルバイトもやりました。先輩の紹介で家庭教師もやり、週2日でひと月2千円のアルバイト料をもらっていました。

寮生の時は事務方から各寮に「アルバイトがありま

す、アルバイトがあります」と放送があります。早い者勝ちですから、これを聞くや否や希望者は各部屋から我先にと寮の事務所へ向かって走ります。



鳳陽寮全景 (学12 永沼嗣朗氏提供)

路脇で巻き尺を使って測量の作業を始めました。それも30分ほどで終わり、「ごころうさん」と500円のアルバイト料をもらって終わりました。

当時、500円でどんなものが食べられるかという、一例をあげると子供の握りこぶし大のピフテキが食べられました。親元から毎月末に仕送りが届くと何人か揃って市内にあったデパート「ちまきや」へ行き食べたもので寮の娯楽室で販売されているうどんが一杯50円ですから月一回の贅沢でした。

色々なアルバイトをやりましたが、その中で一番楽だったのは、ある土木事務所の仕事です。「朝9時に市役所へ行って指示を受けてください。内容は測量のお手伝いです」と言われ、翌日、その時間に行く土木事務所の方がまだ来ておられませんが、とのこと。11時過ぎになつてやつと来られて「お待ちせしました。お昼近くになつたから、食事に行きましょう」となり、食後、午後1時頃から湯田辺りの道

一番ハードなアルバイトは3年生生の7月、岡山でのイグサ刈りです。バイト料は一日千円です。農家に泊まり、早朝3時起床、6時までイグサを刈った後、運ばれてきた握り飯で朝食。10時頃、刈り切ったイグサを泥水に浸して畔などで干す作業。この後、昼食で午後は夕方5時頃まで同じような作業で、一日の作業が終わります。夕食、風呂を済ませ、夜7時過ぎには床の中で白河夜船という毎

はまず、自分たちの部屋の窓ガラスを取り外し、各寮で決めたテーマに従って人形や絵画を飾りその出



寮祭 仮装行列 (中寮)



寮祭西寮の様子 (学12 永沼嗣朗氏提供)

◆寮祭
5月は鳳陽寮の寮祭が行われました。寮祭は近所の人々が見学に来て楽しんでもらえる行事になっていました。1階の寮生

来栄えを見学した人たちに投票してもらおうのです。我々はそれをデコレーションと呼んでいました。二つ目はコーラスです。課題曲と各寮で決めた自由曲で審査員の方の出来栄を審査してもらおうのです。三つ目は演劇で、これも各寮対抗となります。私のいた中寮は山本有三の戯曲で幕末の寺田屋騒動に加担した十人の薩摩藩士の物語「同士の人々」を演じました。四つ目は仮装行列です。各寮で決めたテーマで仮装して市街を練り歩き、市民の皆さんに投票してもらおうのです。結果、我が中寮は演劇と仮

装行列で高得点を得て総合優勝を果たしました。おまけがあります。演劇が好評を得て後日、山口刑務所から「慰問ということでは何か演ってもらえないか」と依頼があり、私たちは菊池寛の「父帰る」を演じました。◆おしまいに
色々駆け足で述べました。卒業して58年。振り返ってみれば、山口での4年間は地域の住民の方々と学友との強い結びつきの中の生活でした。山口のまち、亀山公園などどうなっているだろう、あの学友はどうしているだろう、などと思いは尽きません。

一の坂川沿いから亀山の山頂へ

1973年(昭和48年)の経済学部の移転により、山口大学の山口市平川地区への統合移転は完了し、既に50年近くの年月が経過しました。この間、山口大学跡地には、跡地を南北に貫くパークロードや、山口県立美術館、山口県立図書館等の公共施設が整備され、引き続き、文教地区の静かな佇まいを見せています。

また、現在も亀山公園や一の坂川周辺地区の整備が続けられており、一の坂川沿いからパークロード、亀山に至る一帯は、サビエル記念聖堂や瑠璃光寺等の山口市を代表する観光地、中心商店街を結ぶ魅力あるエリアとなっています。

そこで、現在の一の坂川沿いの「一の坂川交通交流広場」から亀山公園の「亀山公園山頂広場」に至るエリアをご案内します。

◎一の坂川交通交流広場

2015年(平成27年)、公設市場・川端市場の跡地を活用して、「一の坂川交通交流広場」が中心市街地と



一の坂川交通交流広場

大内文化特定地域やパークロード周辺を結節する交流の拠点として整備されました。

この地には上田鳳陽先生が創設された山口講堂があったことから、広場の一面には山口大学創基200周年記念事業の一環として、「山口大学創基の地(山口講堂跡)記念碑」が設置されています。



山口大学創基の地記念碑



◎亀山公園ふれあい広場

一の坂川交通交流広場からパークロードの間の山口大学グラウンド跡地等は、現在、亀山公園「ふれあい広場」として整備され、噴水や亀をモチーフとした複合遊具が設置されています。



ふれあい広場・噴水

また、5面のテニスコートやグラウンドを備えたこのふれあい広場は、一日中、多くの老若男女で賑わっています。



ふれあい広場・グラウンド

一の坂川交通交流広場からふれあい広場内を通り抜

け、パークロードにつながる緑豊かな散策路も整備されており、市民の格好の散歩道になっています。この散策路につながる一の坂川沿いから瑠璃光寺五重塔に至る道路は「高齢者健康の道」に指定されています。



ふれあい広場・テニスコート

◎パークロード

パークロード(県道203号厳島早間田線)は、山口大学跡地を南北に貫く形で、1980年(昭和55年)に完成しました。道路の両側に美術館、博物館、図書館といった文化施設や社会教育施設が集まっていることから、歩道を広くしてたくさんの方の街路樹を植樹するなど、道路全体が公園の様に整備されており、愛称が「パークロード」という名称になりました。



パークロード・山口市役所

ただ、老朽化が進み狭隘なため、現在地で建て替えられ、2024年度(令和6年度)に供用開始されることになっています。パークロード沿いには、経済学部跡の石垣が一部残され、県立美術館の石垣の一部を構成しています。また、石垣の上には、鳳陽寮



パークロード(鳳陽館付近)

大学教育学部の旧校舎は、現在も山口市役所の庁舎として活躍しています。



県立美術館の石垣

寮歌の歌碑、青春譜が設置されています。県立美術館の北側、鳳陽会の同窓会館「鳳陽館」があります。また、パークロードを隔



鳳陽寮寮歌歌碑、青春譜



鳳陽寮記念碑「鳳波」

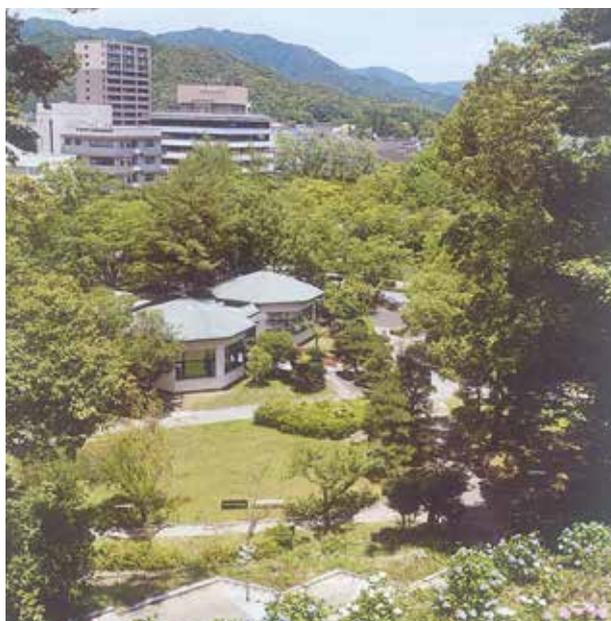
てた鳳陽館の向かい側、鳳陽寮跡地には、県教育会館の傍に、鳳陽寮にあった方位盤を中心に波紋が無限に広がるように、寮生が雄飛活躍する姿を具象化した鳳陽寮記念碑「鳳波」が、建っています。

◎亀山公園山頂広場

2018年(平成30年)、明治維新150年を機に亀山公園の山頂広場が再整備



鳳陽館



山頂広場からの鳳陽館

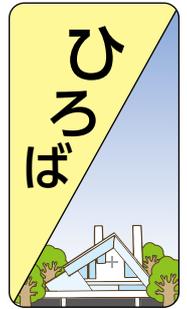
されました。整備後の山頂広場は、周囲に生い茂っていた樹木が伐採され、山口市街地全体を一望できるようになり、麓の鳳陽館もよく見えるようになりました。またイベントなどに利用できる芝生広場、バリアフリーに対応したトイレ、車いすなどに配慮したスロープの園路が整備されました。



亀山公園山頂広場

交流広場を経て、市の中心商店街につながるエリア全体を創出するための取組が進められています。

「鳳陽会」の活動が拡大発展できるように、ご協力下さい



懐かしき酒場
「大方」

1970年代の春、私は山口大学経済学部に入りました。亀山には格調高い本館や講堂が健在だった。

畜カラの気風が色濃く残る鳳陽寮・北寮に入寮した。夕暮れどき、寮の先輩に誘われ、道場門前の古い酒場「大方」のれんを初めてくぐった。おでんのあたたかい湯気がもうもうと立ち込める。私たちはカウンター席に座った。丸々太った女将さんに初対面のあいさつをする。女将さんはつこり笑ってこういった。

「あなたは、経済学部やる」「はい、そうです」「やっぱね。経済の学生さんにはちよつと違うね」どこが違うのかわからないが、悪い気はしない。

◆経済学部生試験心得

しばらくすると、隣に長髪でメガネの学生が座った。経済学部の先輩だった。その先輩が経済学部生の試験

心得について語り始めた。「あのな。試験で優なんか、とるもんじゃないぞ」「はあ(なぜ、優をとってはいけないのだろう)」「といつても、不可は論外だ」「そうですね」「いいか。可が一番だ」「はあ」

「経済の学生は可、可、可で全部単位をとる。これだ」なるほど。私は先輩のいつけをよく守った。優は卒業論文だけ。のこりはほぼ可、可、可だった。

◆日本一安いフグ鍋

大方は安くておいしい。連日、学生や市民でにぎわった。居心地がいい。よく通った。

木枯らしが吹く季節に登場するのがフグ鍋だ。「日本一安い」と評判だった。小さな鍋に骨付きフグ、豆腐、そして白菜とネギ。骨にはフグの白身がへばりついており、舌の先ですくいとり、ようにして食べる。それでも、おいしかった。しんしんと冷える夜。友とフグ鍋を囲み、熱い酒を飲む。

◆全メニューに挑戦

ああ、あの日に帰りたい。アルバイトでかなり稼いだ。後輩たちを誘って大方に繰り出した。

「きょうはおれのおごりだ。メニューの端から順番に全部、注文しよう」

壁にはメニューがずらりと貼ってある。おでんの卵、厚揚げ、大根、ちくわ、じゃがいも、こんにゃく、ごぼ天などから始まって一品料理の餃子、肉野菜炒め、肉じゃが、冷奴、玉子焼き……。後輩たちは順番に注文し、次々にたいてい上げていく。だが、若い胃袋にも限界がある。メニューの最後までたどりつけなかったと記憶している。

◆消えた酒場

卒業して私は新聞記者になった。世界各地取材した。忙しく、危険だが、充実した日々だった。永い歳月が流れた。ある日、山都山を訪れた。

今夜は大方で飲むーと決めていた。日が暮れて道場門前に出かけた。女将さんは健在だろうか。下駄履きのおやじさんは元気にしているだろうか。私のことを覚えていてだろうか。

だが、古き、よき酒場「大方」は消えていた。あの青春の酒場がない。喪失感……。悲しかった。

(学23 塩塚 保)

本号の内容

新年のご挨拶	1〜2
学園だより	2〜6
畏友 山本博巳君の思い出	7〜8
動静	8
支部だより	9
手負いの虎	その2 10
山口の想い出	11〜13
一の坂川沿いから	
亀山の山頂へ	14〜15
ひろば	16

事務局から

山本博巳(一般社団法人鳳陽会顧問(元理事長))が亡くなりました。

山本顧問は、平成14年6月に鳳陽会東京支部長に就任、7月には社団法人鳳陽会理事に就任されました。また平成20年6月〜平成27年6月の間は社団法人鳳陽会の理事長を務められました。この長い間、鳳陽会活動に勤しまれ、卓越した指導力により、鳳陽会の一般社団法人への円滑な移行を進めるなど、多大のご尽力を賜りました。山本顧問のご冥福を心からお祈り申し上げます。(一)

山口銀行
スマホポータルアプリ

Smartphone Portal Application

▼アプリのダウンロードはこちら▼



いつでも、どこでも、カンタンに
便利な機能が1つのアプリにまとまりました!



山口銀行
ポータルアプリ

スマートフォンに
左記アプリを
ダウンロードして
ください。



山口銀行
YAMAGUCHI BANK